

第18回天気予報研究会の開催について

第18回天気予報研究会は「台風」をテーマとし、2021年2月20日（土）に気象庁新庁舎講堂での開催予定でしたが、今回は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、オンライン開催といたします。参加方法などについては、学会 HP の行事予定カレンダー（<https://www.metsoc.jp/topics-2-2/calendar>）に掲載します。

日時：2021年2月20日（土）13時30分～16時45分

発表題目：

1. 「近年の風水害の教訓を踏まえた気象庁の取組について」
高橋賢一（気象庁大気海洋部気象リスク対策課）
 2. 「近年の台風予測技術の改善」
 3. 「台風研究最前線」
笠原真吾（気象庁大気海洋部アジア太平洋気象防災センター）
 - ①発生環境場診断研究：台風にも生まれつきがある？
 - ②台風ーンショット計画：2050年までに台風の「脅威」を「恵み」に！」
筆保弘徳（横浜国立大学）
 4. 「2019年台風第19号（令和元年東日本台風）と長野市長沼地区の千曲川堤防について」
田中章夫（日本気象予報士会長野支部）
 5. 「台風被災地住民調査からみる防災情報発信の課題」
入江さやか（NHK 放送研究所）
-